



## 今日のトピック 主要な資産の利回り比較（2020年6月） リスク資産の利回り低下が続く

- 6月の主要資産の利回りは、引き続きリスク性資産で低下しました。各国・地域の積極的な財政・金融支援策が市場心理を支えるなか、経済活動が再開されたことで景気回復期待が広がり、投資家のリスク選好姿勢が強まりました。
- 主要国の国債利回りは、米国、ドイツ、日本とも前月からほぼ横ばいでした。一方、メキシコ、インドネシア、インドなど新興国の国債利回りは、投資家のリスク選好姿勢を背景に、引き続き低下しました。社債の利回りも、米連邦準備制度理事会（FRB）や欧州中央銀行（ECB）による社債などの買い入れ策が好感され、低格付け債中心に低下しました。
- 株式市場は総じて、経済活動の再開による景気回復期待からリスク選好姿勢が強まり、堅調に推移しました。これに伴い、株式の配当利回りは低下しました。また、欧米のリート市場は上昇し、配当利回りが低下しましたが、日本やシンガポールのリート市場は不動産市況の不透明感などが重石となり、利回りは前月とほぼ横ばいでした。

### 【代表的な債券利回り、リート・株式等の配当利回り】

（%）

年/月	国債							社債			
	米国	ドイツ	日本	豪州	メキシコ	インドネシア	インド	世界投資適格	米国ハイ・イールド	欧州ハイ・イールド	日本高格付
20/6	0.66	▲ 0.45	0.03	0.87	5.84	7.18	5.88	1.86	6.87	5.62	0.37
20/5	0.65	▲ 0.45	0.01	0.89	6.16	7.30	6.16	2.12	7.02	6.47	0.36
20/4	0.64	▲ 0.59	▲ 0.03	0.89	6.61	7.83	6.11	2.34	8.05	7.17	0.36
20/3	0.67	▲ 0.47	0.02	0.76	7.12	7.85	6.14	3.03	9.44	9.62	0.40
20/2	1.15	▲ 0.61	▲ 0.15	0.82	6.87	6.91	6.37	1.88	6.23	3.91	0.21
20/1	1.51	▲ 0.43	▲ 0.07	0.95	6.63	6.65	6.60	1.98	5.52	3.40	0.24

  

年/月	リート						株式			その他	
	米国	欧州	日本	豪州	シンガポール	香港	世界	アジア（除く日本）	豪州	MLP	BDC
20/6	4.54	5.54	4.51	5.10	4.76	4.98	2.21	2.41	4.22	11.88	13.26
20/5	4.83	5.83	4.51	5.97	4.75	5.33	2.32	2.65	4.57	10.80	12.98
20/4	4.92	6.06	4.82	6.50	6.11	4.64	2.42	2.62	5.05	11.86	13.90
20/3	5.33	6.68	4.80	7.91	6.69	4.79	2.99	2.87	5.69	19.36	17.28
20/2	4.19	4.93	3.79	4.88	5.26	4.37	2.61	2.52	4.45	11.72	10.47
20/1	3.84	4.40	3.42	4.50	4.85	3.94	2.39	2.46	4.01	10.01	9.32

（注1）国債は10年国債利回り。社債は世界投資適格社債がBloomberg Barclays Global Aggregate Corporates Index、米国ハイ・イールド社債がBloomberg Barclays U.S. High Yield Index、欧州ハイ・イールド社債がBloomberg Barclays Pan-European High Yield Index、日本高格付社債がNOMURA-BPI事業債指数。リートはすべてS&P先進国リート指数の主な国・地域指数。株式は世界株式がMSCI AC ワールドインデックス、アジア（除く日本）株式がMSCI AC アジア（除く日本）インデックス、豪州株式がMSCI豪州インデックス。MLPはアレリアンMLP・インデックス、BDCはウェルズファーゴBDC・インデックス。

（注2）MLPは有限責任組合（Master Limited Partnership）で、米国で行われている共同投資事業形態の1つです。エネルギーや天然資源に関する事業などを行っているMLPがあります。BDCは米国の事業開発会社（Business Development Companies）です。銀行とは異なる企業形態で、中堅企業等向けに、融資や出資（株式の取得など）を行う会社です。

（出所）Bloomberg L.P.、野村證券金融工学研究センター、S&P Dow Jones Indices LLC、FactSetのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ここも  
チェック!

2020年7月8日 吉川レポート：分岐点か踊り場か  
2020年7月6日 先月のマーケットの振り返り（2020年6月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。